

## 『FT/IRバリデーション』

イカリ消毒株式会社  
太鼓地 洋昭

会員各社の中には、廃棄物の油分検定でFT/IRを使用されているところもあるかと思えます。既に、各社ごとの手順に従ってバリデーションを行われているかと思えますが、まだ手順を決めかねている事業所様がおありでしたら、参考に見てみてはいかがでしょうか？

当会会員の皆様にはあまり馴染みがないかとは思いますが、平成14年12月27日に公布された第十四改正日本薬局方第一追補では、下のように「分解」と「波数精度」が改正されました。特に波数精度では、誤解の多かったカッコ内の数値の定義が明確になりました。

## 日本薬局方の改正点

	第十四改正日本薬局方	第十四改正日本薬局方 第一追補
分解	得られた吸収スペクトルの2870cm <sup>-1</sup> 付近の極小と、 <u>2851cm<sup>-1</sup></u> 付近の極大における透過率(%)の差が、18%以上であること、および、1589cm <sup>-1</sup> 付近の極小と1583cm <sup>-1</sup> 付近の極大における透過率(%)の差が <u>10%</u> 以上であること。	得られた吸収スペクトルの2870cm <sup>-1</sup> 付近の極小と、 <u>2850cm<sup>-1</sup></u> 付近の極大における透過率(%)の差が、18%以上であること、および、1589cm <sup>-1</sup> 付近の極小と1583cm <sup>-1</sup> 付近の極大における透過率(%)の差が <u>12%</u> 以上であること。
波数精度	波数目盛りは、通例、ポリスチレン膜の下記の吸収帯のうち、いくつかを用いて補正する。なお、括弧内の数値は、 <u>これらの値が定められたときの正確さを表す。</u> 3027.1(±0.3)      1583.1(±0.3) 2924(±2)          1181.4(±0.3) 2850.7(±0.3)      1154.3(±0.3) 1944(±0.3)        1069.1(±0.3) 1871.0(±0.3)      1028.0(±0.3) 1801.6(±0.3)      906.7(±0.3) 1601.4(±0.3)      698.9(±0.3)	波数目盛りは、通例、ポリスチレン膜の下記の特性吸収波数(cm <sup>-1</sup> )のうち、いくつかを用いて補正する。なお、()内の数値は、 <u>これらの値の許容範囲を示す。</u> 3060.0 (±1.5)cm <sup>-1</sup> 2849.5 (±1.5)cm <sup>-1</sup> 1942.9 (±1.5)cm <sup>-1</sup> 1601.2 (±1.0)cm <sup>-1</sup> 1583.0 (±1.0)cm <sup>-1</sup> 1154.5 (±1.0)cm <sup>-1</sup> 1028.3 (±1.0)cm <sup>-1</sup>